

令和2年分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1兆6,685億円（対前年比8.5%の減少、比率ベース：2年連続の減少）、輸入総額は9,189億円（同10.1%の減少、2年連続の減少）であった。差引額は7,496億円（同6.5%の減少）の輸出超過で、3年連続の減少となった。

品目別では、輸出は「科学光学機器」、「無機化合物」などは増加したものの、「原動機」、「二輪自動車類」、「自動車の部分品」などが減少した。輸入は「絶縁電線及び絶縁ケーブル」、「非金属鉱物製品」などは増加したものの、「魚介類及び同調製品」、「液化天然ガス」、「自動車の部分品」などが減少した。

地域別では、輸出は「アメリカ」、「EU」が減少、「アジア」は増加した。輸入は「アジア」、「EU」が減少、「アメリカ」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1兆6,685億円	▲8.5%	9,189億円	▲10.1%	7,496億円	▲6.5%
	2年連続の減少		2年連続の減少			

輸出				輸入					
	概況品名	金額	伸率		概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 科学光学機器	1,233億円	+21.0%	輸入	増加品目	(1) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	295億円	+11.9%
		(2) 無機化合物	180億円	+62.1%			(2) 非金属鉱物製品	143億円	+21.6%
		(3)					(3)		
	減少品目	(1) 原動機	1,854億円	▲20.3%		減少品目	(1) 魚介類及び同調製品	1,438億円	▲13.0%
		(2) 二輪自動車類	958億円	▲27.5%			(2) 液化天然ガス	519億円	▲27.2%
		(3) 自動車の部分品	1,469億円	▲19.1%			(3) 自動車の部分品	183億円	▲28.6%
主要地域増減	アメリカ、EUが減少、アジアは増加			主要地域増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加				

（参考）ドルレートは、106.98円（前年比1.9%、2.10円の円高）であった。
（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
田子の浦港	11,139百万円	▲2.3%	21,493百万円	▲13.0%	▲10,354百万円	▲22.2%
	2年連続の減少		2年連続の減少			

輸出				輸入					
	概況品名	金額	伸率		概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	2,242百万円	+129.3%	輸入	増加品目	(1) 石炭	4,965百万円	+289.4%
		(2) ポンプ及び遠心分離機	504百万円	+81.7%			(2) とうもろこし	8,023百万円	+16.5%
		(3)					(3)		
	減少品目	(1) 電気計測機器	949百万円	▲53.0%		減少品目	(1) パルプ	3,426百万円	▲69.0%
		(2) 金属鉱及びくず	1,433百万円	▲25.2%			(2) 有機化合物	3,015百万円	▲14.2%
		(3) 自動車用等の電気機器	824百万円	▲14.1%			(3) 肥料	330百万円	▲32.3%
主要地域増減	アジア、EU、アメリカが減少			主要地域増減	EU、アジア、アメリカが減少				

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
御前崎港	298,067百万円	+5.4%	17,304百万円	▲30.3%	280,764百万円	+8.8%
	2年ぶりの増加		3年ぶりの減少			

輸出				輸入					
	概況品名	金額	伸率		概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 自動車	157,254百万円	+27.6%	輸入	増加品目	(1) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	2,853百万円	+58.8%
		(2) その他の化学製品	22,834百万円	+524.0%			(2) 非金属鉱物製品	661百万円	+98.4%
		(3) 無機化合物	8,790百万円	+51.9%			(3)		
	減少品目	(1) 自動車の部分品	36,695百万円	▲31.7%		減少品目	(1) 自動車	50百万円	▲98.9%
		(2) 楽器	22,680百万円	▲20.1%			(2) 鉄鋼	3,466百万円	▲32.4%
		(3)					(3) プラスチック	315百万円	▲71.8%
主要地域増減	EUが増加、アジア、アメリカは減少			主要地域増減	アメリカ、EU、アジアが減少				

4. 静岡空港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
静岡空港	2百万円	▲85.3%	21百万円	▲99.3%	▲19百万円	▲99.3%
	5年ぶりの減少		4年ぶりの減少			

輸出				輸入					
	概況品名	金額	伸率		概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1)			輸入	増加品目	(1)		
		(2)					(2)		
		(3)					(3)		
	減少品目	(1) 電気回路等の機器	2百万円	▲81.8%		減少品目	(1) 航空機類	—	全減
		(2) 金属製品	—	全減			(2) 植物性原材料	20百万円	▲82.9%
		(3)					(3)		
主要地域増減	アジアが減少			主要地域増減	中南米が全減、アジアが減少				